

■猫コロナウイルス(FCoV)

★検査材料は遺伝子検査専用としてお送りください。

遺伝子検査以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子検査用に材料を分けてください。

●2022年8月より、血清・血漿材料によるAGPの基準値をアップデートいたしました。

●2022年9月より、胸腹水によるAGPが検査可能になりました。

セット名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項												
FCoV 遺伝子★ (定性)	胸腹水 脳脊髄液 0.3mL	冷蔵	5日以内	RT-PCR	1.健康例に対してFCoV感染の有無と程度の確認はできません。このため健康キャリア、未発症キャリアの検査につきましてはFCoV抗体検査をご利用ください。 2.以下に本検査のFIP診断に対する精度を示しております。なお、野外調査は現在進行中のため、下表中の値が今後変更となる場合もあります。 3.なお、ドライタイプ症例については血液材料ですが、血清・血漿では感度がかかなり低くなるため全血材料での検査をお勧めします。												
FCoV 定量遺伝子★	全血 (EDTA処理) 1mL	冷蔵	5日以内	RT-PCR													
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>特異性</th> <th>感度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胸腹水材料</td> <td>高</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>全血材料</td> <td>中</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>脳脊髄液</td> <td>高</td> <td>中</td> </tr> </tbody> </table>		特異性	感度	胸腹水材料	高	高	全血材料	中	中	脳脊髄液	高	中
	特異性	感度															
胸腹水材料	高	高															
全血材料	中	中															
脳脊髄液	高	中															
FCoV 抗体	血清・血漿 0.03mL 脳脊髄液 0.1mL	常温 冷蔵	3日以内	ELISA	1.FCoV抗体のレベル(抗体価)を測定します。(定量検査) 2.胸腹水中の抗体価は血清中の抗体価とほぼ同じ、もしくは若干低めの値を示します。 3.家猫以外の猫科動物(ライオンやチーターなど)では若干検出感度が低下することがあります。												
FIP診断のための検査																	
AGP (α1酸性糖タンパク)	血清・血漿 胸腹水 0.05mL	常温 冷蔵	3日以内	LA	1.弊社のAGP検査はFIPの診断にご利用ください。その他の疾患や健常猫の基準値は設けておりません。 2.過度の溶血材料について正確な結果がご報告できない場合があります。 3.2022年9月より胸腹水によるAGPが検査可能になりました。												

### FIPに対するAGP値の特異度と感度

カットオフ AGP値 ( $\mu\text{g/mL}$ )	血清中AGP値				胸腹水AGP値	
	ウェット型		ドライ型		ウェット型	
	特異度 (%)	感度 (%)	特異度 (%)	感度 (%)	特異度 (%)	感度 (%)
550 (正常上限値)	38	100	38	100	32	100
1000	56	99	53	95	55	95
1500	70	97	64	83	66	94
2000	80	88	74	54	84	81
2500	93	55	84	23	93	44
3000	98	23	96	8	99	10
3500	100	5	100	0	100	0

特異度：FIP肯定のための参考値

感 度：FIP否定のための参考値

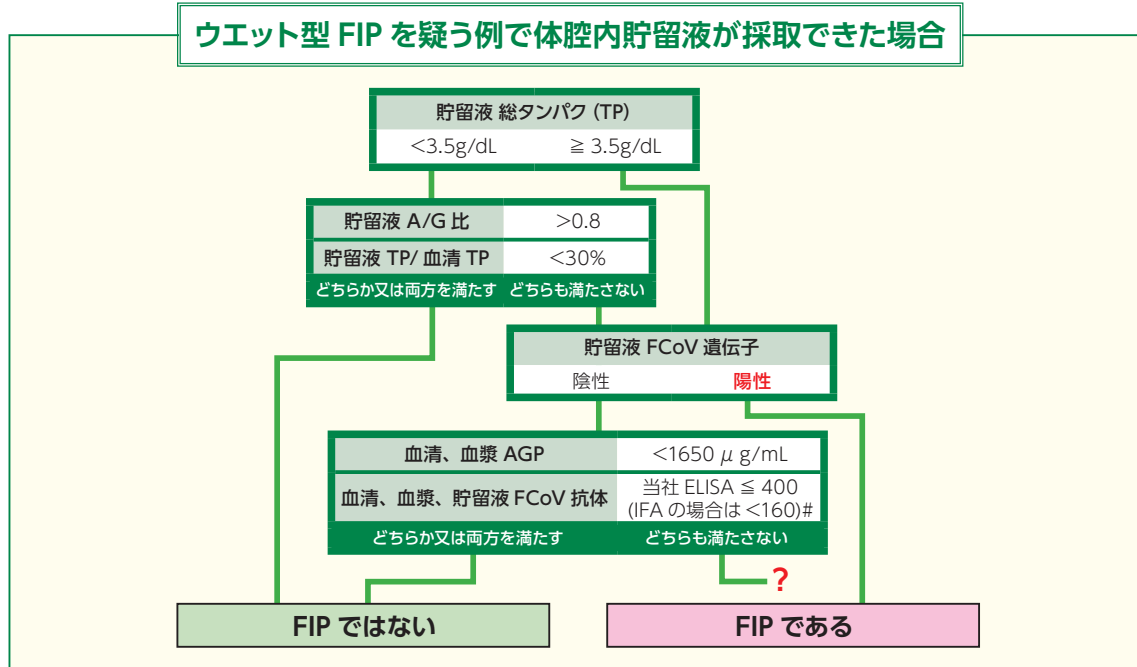
FCoV抗体検査（当社ELISAとIFA法との比較）			
当社ELISA	IFA	当社ELISA	IFA
< 100	< 100	6400	800
200	< 100	12800	1600
400	< 100	25600	3200
800	100	51200	6400
1600	200	$\geq 102400$	$\geq 12800$
3200	400		

当社検査(ELISA)と世界的な参照法(IFA法)との抗体価の比較  
(他の検査所のデータを利用される場合に参考にしてください。)

中枢神経型FIPの診断基準		
・CFSからのFCoV遺伝子の検出		
・CFS中FCoV抗体価2560以上		
・血清中FCoV抗体価/CFS中FCoV抗体価(S/C) 10以下		
血清中FCoV抗体価のFIP診断に対する特異性		
抗体価	多頭飼育	単頭～少頭数飼育
$\geq 102400$	92%	ほぼ100%
51200	89%	ほぼ100%
25600	79%	98%
12800	62%	97%
6400	42%	92%

## 【FIP 診断手順と基準】

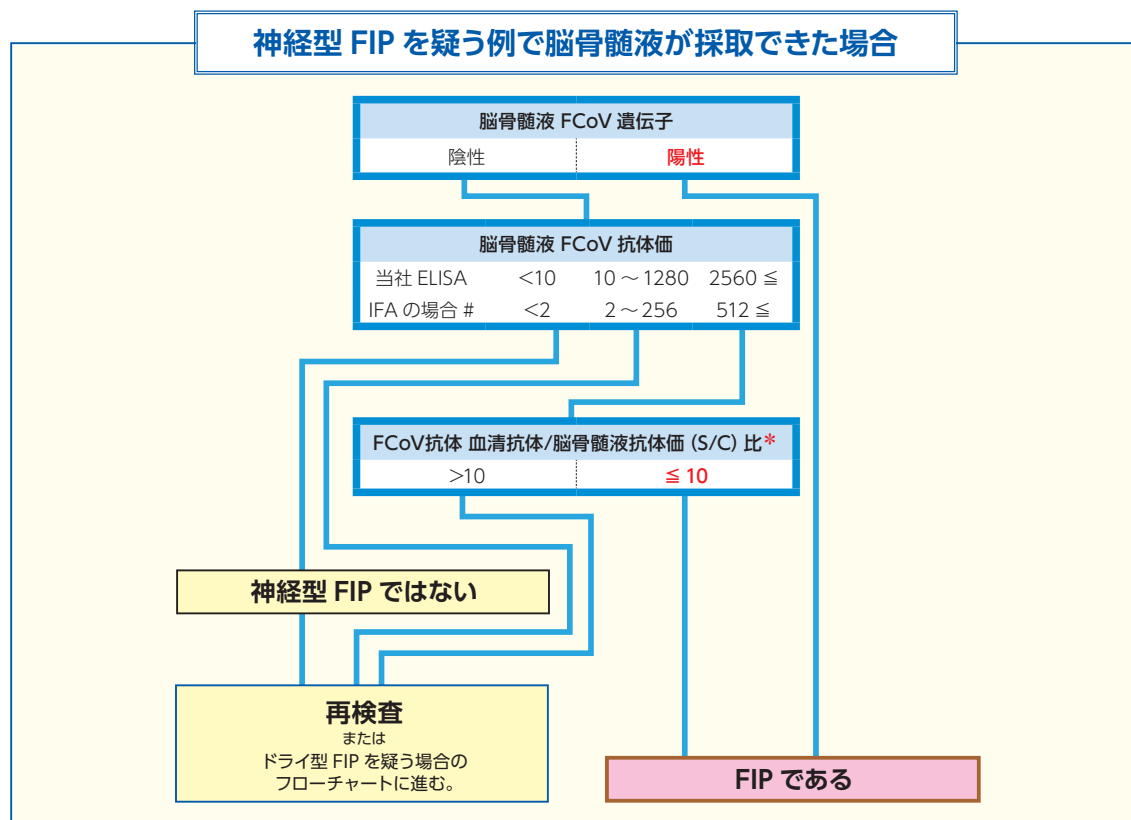
- 現時点で最も適切と考えられる診断指針を以降に示しました。残念ながら、これでも診断にたどり着けない症例もありますが、これまで以上の精度が期待できるものと思われます。なお、診断が見つからない場合は目安として2～3週間後に基準値に適合しなかった項目を再検査することをお勧めいたします。



\* 特異度は臨床所見から FIP が強く疑われる例に対するもので、健康例や他の疾患の可能性のある場合はあてはまりません。

? 現状では診断は成立しません。日数をあけて再検査されるか、他の疾患の可能性を検討してください。

# 他社の抗体検査結果の場合は、世界的な参照法である IFA 法との相関性、換算法についてご利用の検査期間にお尋ねください。



\*例) 血清抗体価 25600、脳髄液抗体価 5120 の場合 : S/C=5

# 他社の抗体検査結果の場合は、世界的な参照法である IFA 法との相関性、換算法についてご利用の検査機関にお尋ねください。